

平成 29 年度「多様な学習を支援する高等学校の推進事業」

『支援を要する子どもたちに対しての就労支援の取り組み研究』報告書

① 第 1 回検討会議・勉強会を平成 29 年 9 月 29 日(金)9 時 00 分～12 時 00 分 横浜分校にて実施した。

【実施内容】

①校長挨拶

②趣旨・概要説明

③外部アドバイザー・八洲学園高校担当者、その他教員紹介

④勉強会 一般社団法人障がい者・高齢者じりつ支援機構 代表理事 林尻 悟様

「障がい者の就労支援について」

※第 1 回勉強会資料参照

⑤検討会議

1. 開会式

2. 議事

(1) 第 1 回勉強会

※第 1 回勉強会資料参照

一般社団法人障がい者・高齢者じりつ支援機構

代表理事 林尻 悟様

「障がい者の就労支援について」

(2) 検討会議

○八洲学園高等学校より研究案の説明

○外部アドバイザーからの助言

○意見交換

(3) その他

3. 閉会

出席者名簿

氏名	現職
林尻 悟	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 代表理事
吉田 稔	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 施設長兼サービス管理責任者
伊藤 京子	公立学校共済組合関東中央病院 精神科精神保健福祉士 作業療法士
東鬼 裕子	スクールソーシャルワーカー、就労支援コーディネーター
森下 優子	立正大学キャリアカウンセラー
林 周剛	八洲学園高等学校 校長
南條 将範	八洲学園高等学校 教頭

五味 美和	八洲学園高等学校	進路指導部長
花田 久仁彦	八洲学園高等学校	教務部長
吉田 洵	八洲学園高等学校	教諭
寺西 美加子	八洲学園高等学校	教諭
熊谷 憲子	八洲学園高等学校	横浜分校主任教諭
島田 悠	八洲学園高等学校	教諭
三代 彩乃	八洲学園高等学校	教諭
中野 史尉	八洲学園高等学校	総務部長
芦村 将太郎	八洲学園高等学校	教諭
石塚 理恵	八洲学園高等学校	池袋キャンパス主任教諭
平井 美穂	八洲学園高等学校	生徒指導部長
木本 美奈子	八洲学園高等学校	教諭
岩谷 彰太	八洲学園高等学校	教諭

はじめに過去5年間の八洲学園高等学校進路状況を数値化し考察をおこない本取り組みの必要性を確認した。

・過去5年の数値から見た考察

八洲学園高等学校の過去5年の進路状況を調べると、進学希望者はその年によって卒業生全体の19%～42%と大きな変動があったが、年々就職希望者が増加していることがわかった。5年前の就職希望者は卒業生全体の5%であるが、平成27年度は14%、平成28年度は11%と2倍に膨れていることがわかった。当校では、平成24年度よりサポートクラスを設立し、それまでの進路指導以上に個別対応に力を入れ、一人ひとりの進路指導を徹底している状況である。就職希望者が増加したのは、一人一人の状況に応じた進路指導から、本人の希望する進路が見つかりやすくなり、見えていなかった就職にも興味を持ち、就職希望者が多くなったのではないかと考える。

産業別を見ると、5年間通して、「建設業」、「小売業」、「生活関連・飲食・宿泊等サービス業」の3業種が高卒求人の大半を占め、職種別においても「販売従事者」、「接客等サービス従事者」、「建設従事者」が中心になっている。人気の事務従事者などは、今後も求人と応募の状況には隔たりがある状況だが、販売、接客、建設などの分野においては、今後益々人口減少に伴う需要の増加が認められる。支援を要する生徒さんへの就労支援の取り組みについては、今後需要拡大が望める産業や職種に適合する取り組みを行う必要性がある。

・当校での生徒状況

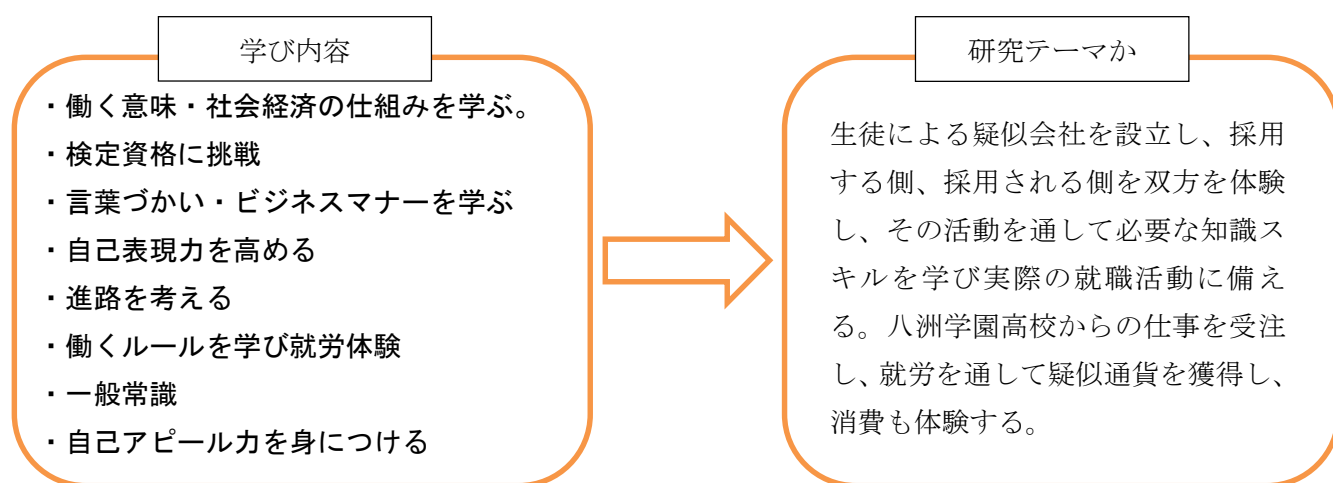
支援を要する生徒さんの入学が増えていき、今までの高校生に対する指導方法だけでは、進路決定までに至ることが難しい状況になった。当校ではサポートクラスを設立後、学び直しの学習だけではなく、オプションプログラムや検定学習を入れることで、進路選択の幅を広げるとともに、指導をする教職員に対しても各種研修制度が設けられ、特別支援学校教諭の免許を取得するなどの取り組みがあり、それぞれの生徒さんの個性に見合った進路指導を行う素地は整いつつある。

## 「学校法人 八洲学園 八洲学園高等学校」

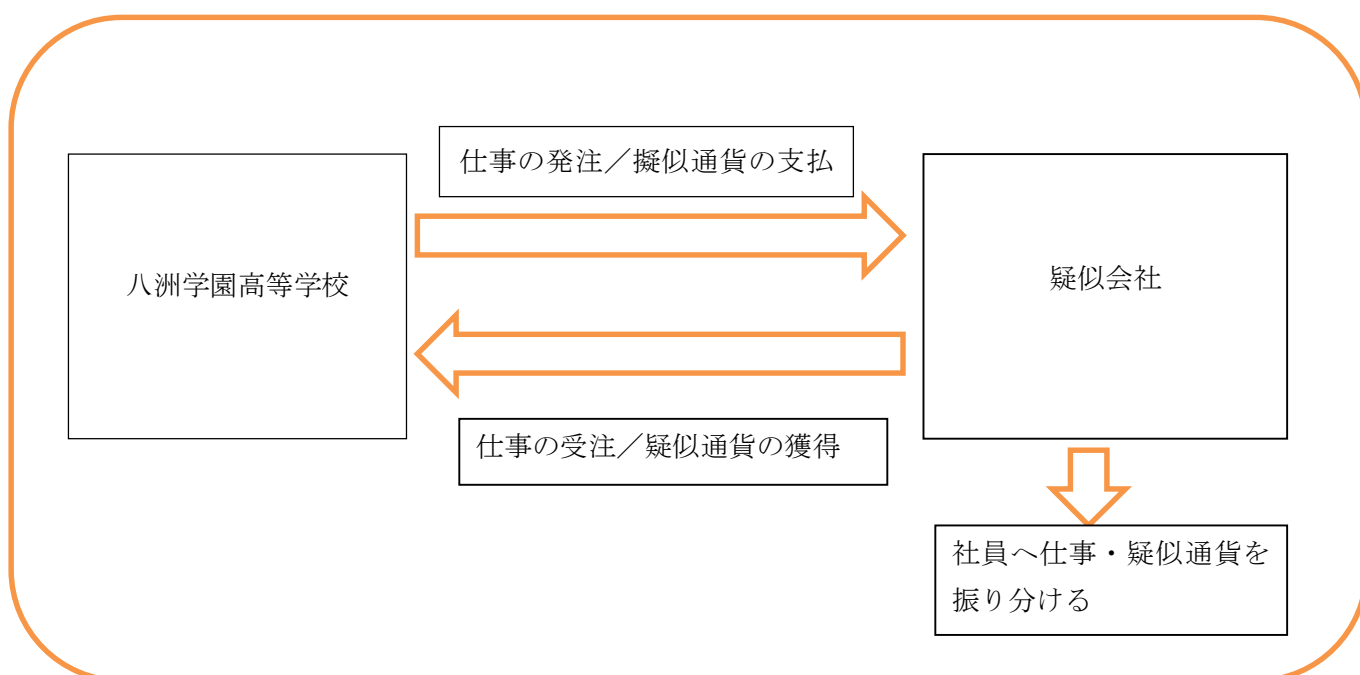
### 『支援を要する子どもたちに対しての就労支援の取り組み研究』初案

支援を要する子どもたちは、はじめての人、はじめての場所、はじめての出来事を苦手にする生徒が多く、今回の研究では、特に体験シミュレーションに重きを置き、よりリアルな体験を在学中にすることで、生徒の自信と実績を作り、社会というはじめての場所へ勇気をもって一歩踏み出すことを目的とし研究をおこなう。

あわせて、キャリアカウンセラーの講義や個別面談をおこないメンタルサポートも平行しておこなう。ごっこ遊びの高校生版というイメージで、ハードルを低く、楽しい要素を入れながら体験させる。



### 【大枠イメージ図】



## 【擬似会社役割】

八洲学園高等学校からの仕事の発注内容は、ボランティア、卒業生への記念作品制作などで、人数も仕事の内容により変動。教員により決定。 疑似通貨は、疑似会社に支払われ、経営者から労働者へ支払われる。疑似通貨は、購買部、文化祭、卒業記念品などで使用できる。

<p>上級生（2年目）：経営者側 役割：社長・部長・役員など 起業・廃業・採用を体験する 仕事を受注し、疑似通貨を得る 仕事を社員に振り分ける</p>	<p>① 採用する側の気持ちを知ること、将来の自分の就職活動にいかす ② 実際の就職活動をおこなう。</p>
<p>下級生（1年目）：労働者側 役割：社員 採用される側を体験する 就労をし、お給料（疑似通貨）を得て、消費活動をおこなう</p>	<p>① 採用される側に必要なことを繰り返し体験し慣れる。 ② 自分の問題として捉え、能動的に動くことができるようになる。</p>

## 【年間予定】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
OO会社			起業			企業説明会		入社試験	入社			廃業	
下級生(1年目)	体験シミュ	受験準備			企業説明会参加	受験準備	受験	業務開始					
		キャリアカウンセラー(集団)											
上級生(2年目)	体験シミュ	役職決め		企業説明会準備		入社試験準備	受注開始						
		キャリアカウンセラー(個別)											
	実際	企業研究	企業見学	採用試験開始									

※今年度は期の途中である為、来年度スタートを念頭にパーツをごとに抜き出して学習・体験シミュレーションをおこなう。

## 【学習・体験内容】

○下級生（1年目）

11月の疑似会社への入社を目標に実際に必要な知識やスキルを学び受験に備える。

- ① 求人票の見方／企業研究
- ② 履歴書
- ③ 面接
- ④ 企業説明会申し込み

- ⑤ 一般常識（範囲限定）
- ⑥ 社会人マナー
- ⑦ キャリアカウンセラーの講義
- ⑧ その他

#### ○上級生（2年目）

5月に疑似会社を起業し、2月の廃業までの間に採用側を経験し、実際の就職活動にいかす。実際の就職活動も同時進行でおこなう。

- ① 起業／廃業手続き
- ② 企業説明会準備
- ③ 採用試験準備
- ④ 受注した業務の振り分け
- ⑤ 実際の就職活動に即して昨年度の復習をおこなう。
- ⑥ キャリアカウンセラーの個別面談
- ⑦ その他

#### 【八洲学園高等学校役割】

- ①仕事の発注
- ②疑似通貨を使用した消費活動の準備
- ③上級生（2年目）経営者側のサポート
- ④その他

#### 【ポイント】

- ・体験の中で自分にとって何が必要で何を勉強しなければならないのかを学び取らせることが目的のため、具体的な指導に拘りすぎず、流れで体験させることを優先する。
- ・キャリアカウンセラーのメンタルサポートを並行しておこなう。
- ・受験先となる疑似会社は何でも請け負う総合商社とし受験準備をおこなう。

#### ●外部アドバイザーからの助言

- ・体験を繰り返し自信をつける取り組みは支援を必要とする生徒にとっては有効なやり方だと思う。
- ・疑似会社に発注する仕事に関しては清掃などよりリアルなものがよいのではないか。
- ・仕事をすることはお金を稼ぐということだという理解をさせ、尚且つ学校での取り組みということで成功体験として経験することができる内容を提供し、自立を促すことをして欲しい。
- ・支援を要する生徒に対しては生徒の様子を見ながら進める必要があるため、余裕のある計画が必要だと思う。
- ・「楽しさ」をふんだんに入れた内容にして欲しい。

②第2回勉強会を平成29年12月16日（土）13時00分～14時30分 梅田にて実施した。

八洲学園高等学校の全教職員が参加し、この講座を様々な視点を持ち本取り組み内容にどのように活かすことができるかを考える機会と位置付け、今回は就労支援に特化することなく幅広い分野から選択し決定した。

【内容】

教職員研修「パワー・コミュニケーション」

事業所名	NCL 合同会社
日時	2017年12月16日（土）13：00～14：30
場所	八洲学園高等が校 梅田キャンパス（大阪市北区梅田1-3-15 大阪駅前第2ビル 2F）
担当者	講師： 夏川 立也 先生
実施内容	教職員研修：講演「パワー・コミュニケーション」
内容	<p>○コミュニケーションの向上と本質は、お互いのプラスの働きかけの中にある。プラスの行動を相手と一緒にできるよう工夫することが大切。</p> <p>①一体感 ②集中力 ③能動性 } を意図的につくる。意識して行動することが大切。</p> <p>※日常の中でのコミュニケーションで実感することが大切で、身近な人（家族など）に褒めてみるなど、意識をもって行動してみる。3週間実施することで当たり前となる。繰り返し行動すること、数ヶ月経ったら振り返り、できたかどうか実感すること。</p> <p>○コミュニケーションで困った時 積極的にアクションを起こすことが大切。同じことではなく、やったことのないことを起こす⇒状態を変化させること。</p> <p>①会話を誘導していく力 ②協力関係が重要（仕事などは誰かと共同です）</p> <p>○やろうと思ったことの無意識の行動 無意識の行動は9割以上。知識としては理解していても、できていないことが多い（例：笑顔が大切→わかっているもできていない）。 無意識に起きている内容を意識して行動することで、無意識の中に擦り込むことができる。</p> <p>○相手への伝わり方 言葉は半分、感情は2倍。コミュニケーションは言葉に頼ってはいけない。言葉は慣れると雑になってしまう。 10人とハイタッチをする→自然と笑顔になる→これが言葉ではなく場を作る（場が変わる）ということ。 （例：お笑いは面白いことを出すのではなく、面白さを出す）</p>

	○行動と感情のスパイラル 行動→感情→空気→感性
感想	<p>プラスの行動を意識的に取り組むことにより、コミュニケーションが良くなることを学び、わかっていると思っていた内容でも、できていないことに気付くことができました。最後に夏川先生がお話しされていた、コミュニケーションを良くするためには、空気作りの重要性とそのロジックを融合させた行動を理解し実行することで、コミュニケーションを上手く、そして楽しく感じることができるということがとても印象深く感じました。生徒対応で活かせるように、今後は意識して取り組んでいきたいと思います。</p>

【当日の様子】



③第2回検討会議を平成29年12月22日（金）10時00分～12時00分 横浜分校にて実施した。

1. 開会

2. 議事

(1) 第2回検討会議

○八洲学園高等学校より研究案の説明

○外部アドバイザーからの助言

○意見交換

(2) その他

○研修報告

3. 閉会

出席者名簿

氏名	現職
林 尻 悟	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 代表理事
吉田 稔	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 施設長兼サービス管理責任者
伊藤 京子	公立学校共済組合関東中央病院 精神科精神保健福祉士 作業療法士
東鬼 裕子	スクールソーシャルワーカー、就労支援コーディネーター
森下 優子	立正大学キャリアカウンセラー
林 周剛	八洲学園高等学校 校長
多田 浩之	八洲学園高等学校 教頭
南條 将範	八洲学園高等学校 教頭
五味 美和	八洲学園高等学校 進路指導部長
花田 久仁彦	八洲学園高等学校 教務部長
吉田 洵	八洲学園高等学校 教諭
寺西 美加子	八洲学園高等学校 教諭
熊谷 憲子	八洲学園高等学校 横浜分校主任教諭
中野 史尉	八洲学園高等学校 総務部長
石塚 理恵	八洲学園高等学校 池袋キャンパス主任教諭
岩谷 彰太	八洲学園高等学校 教諭



**文部科学省推進事業**  
『支援を要する子どもたちに対しての就労支援の取り組み研究』第2回検討会議資料

- ・おもな取り組み内容①を中心に②を年4回程度、③を合間に入れていくイメージ
- ・基本、2年目が主催し1年目が参加のスタイル。最後のお別れ会のみ1年目主催。
- ・声を出すこと、発表することが恥ずかしくない環境づくりをおこなう。
- ・さまざまな内容を実践に近い形で体験することと反復を重視した指導をおこなう。

おもな取り組み内容①		おもな取り組み内容②	おもな取り組み③
1年目	2年目	1,2年目	1,2年目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金や就職の基礎知識を幅広く学び自分の事として考えることができるようになる。</li> <li>・体験を繰り返し行うことで慣れの中から自信をつけていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・採用を通して、会社が欲しい人材を把握し、自分に置き換えて考える。</li> <li>・物事を主催し牽引することで自立を促し自信をつける。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">キャリアカウンセラ一個別面談 キャリアカウンセラ全体講義</p>	<p style="text-align: center;">社会常識／運転免許学科／冠婚葬祭マナー／ビジネスマナー／一般常識／その他</p>
<b>働く意味</b>	<b>会社設立</b>		
<p>生活やお金の為 社会との関わりを持つ為 自己実現の為 社会貢献の為</p>	<p>会社とは 商号・役員・組織図 欲しい人材 ビジョン</p>	⇒	<p>1年目は、就労の意味を幅広く学び、就労を自分のものとして考えることができるようになる。2年目は採用する側として欲しい人材の検討から自身自身の問題に置き換え考え準備することができるようになる。</p>
<b>企業説明会</b>			
<p>電話申込み 参加準備 参加 回顧(発表形式)</p>	<p>案内作成 申込電話受付 開催準備 運営 回顧(発表形式)</p>	⇒	<p>役割を明確にし、1年目は簡単な台本を作り、実際に電話をして話をするのを慣れるまで繰り返す。2年目は迎える側になるので、当日スムーズな運営ができる様、様々なシミュレーションを繰り返し準備する。</p>
<b>採用試験</b>			
<p>応募書類作成 面接試験準備 筆記試験準備 回顧(発表形式)</p>	<p>採用試験要項作成 応募書類リスト化 面接試験準備 筆記試験準備 採用通知作成 運営 回顧(発表形式)</p>	⇒	<p>合否を決めるものではない(全員採用)ので、面接は自己紹介のみ。学科は簡単な問題10問程度とし、その部分の負担を減らし挨拶・姿勢・動きなどの反復練習に時間をあてるようにする。履歴書や面接の具体的な指導は他の時間におこない、この枠ではおこなわない。</p>
<b>入社式</b>			
<p>入社式参加 自己紹介/他己紹介 名刺作成/名刺交換</p>	<p>入社式準備 開催 自己紹介/他己紹介 親睦イベント準備 名刺作成/名刺交換 運営</p>	⇒	<p>同じ会社のメンバーとして1年目、2年目の親睦を主とし、紹介や名刺交換などもおこなう。</p>
<b>業務</b>			
<p>業務/全体 業務/希望者</p>	<p>業務/受注 業務/振り分け 業務/監督</p>	⇒	<p>全員でおこなう業務と希望者のみで行う業務を複数用意する。2年目が業務を振り分け監督しながらおこなう。業務内容は八洲学園高校が決め提示。</p>
<b>給与勉強会</b>			
<p>使用・運用・貯金について学ぶ</p>	<p>勉強会説明準備 勉強会実施</p>	⇒	<p>給与支払いに合わせて、2年生によるお金についての勉強会を実施する。2年生の卒業制作みたいなイメージ。</p>
<b>廃業</b>			
<p>退職願作成 お別れ会準備</p>	<p>退職願受理 廃業手続き</p>	⇒	<p>退職・廃業を終えた後、1年生主催のお別れ会を実施する。</p>

第1回検討会議を踏まえ作成した上記案を説明した。

次の3点を中心に外部アドバイザーを交えて話し合いをおこなった。

- ① 声を出すこと、発表することが恥ずかしくない環境づくり
- ② 復練習の指導（トレーニング）方法
- ③ 就労支援の取り組みとキャリアカウンセリング（いつ・どのようになど）

●外部アドバイザーからの助言

- ・自己紹介は支援を必要とする生徒にとってはそんなに簡単なものではない。
- ・アイスブレイクの手法を用いることは有効だと思う。
- ・1つのことをおこなう時に複数のテーマを入れない。例えば、声を出すことをテーマにした時には、話の内容を求めることはしない。
- ・できないことを無理にさせず、パスありきで進めることが必要。

取り組みをおこなう上で今以上の知識やスキルを必要とするため積極的に研修をおこない個人として団体としてのレベルアップを図った。五味からその報告をおこなった。

【教育機関】

M大学 発達支援研究センター訪問

☆「START プログラム」※月額2万円、手帳有無関係なし、現在30名前後

発足の経緯・・・退学者の増加の原因を調査→学校生活に何らかの理由で適応できない生徒が多数、発達の課題を抱える生徒が多く、対応策としてスタートしたプログラム

・主な内容

- ① 時間管理 / ②体調管理 / ③ストレス / ④ルール / ⑤マナー

・プログラム参加パターン

- ① 入学前から問い合わせ / ②入学後心配になった場合

・運営形態・・・3クラス

- ① 大学適応（新入生）クラス〈アセスメント〉
- ② 社会適応クラス〈スキルトレーニング〉
- ③ 社会移行クラス〈インターンシップ〉

☆開設にあたってのアドバイス

- ① 学校として実施できる支援の限界設定を設ける。人数・組織において可・不可を見極め、支援する側に負荷がかかりすぎない体制をつくる。
- ② 専門チームの設置・専門職の職員を配置すること。人件費的に難しいケースであれば関東の校舎全体を回ってもらう形でも良い。
- ③ 支援する人を支える人や場所の配置必要。直接支援を行っている担当者は特に疲弊するため、理解がなければ組織全体として機能しなくなる。
- ④ 情報共有⇒成功体験だけではなく必ず失敗体験も共有する。

## 【就労移行支援事業所】

### ①でらいとわーく訪問

#### ☆見学内容

9：30～朝礼&簡単な掃除&確認など

10：00～公文学習（自己のペースで進め、40～50分で国語、休憩挟み、英語など）

※午後：でらいとわーくジュニア見学

#### ☆「公文式学習プログラム」

・模擬職場空間として取り入れ、個々の状況に応じて利用している。書類のやりとりなど実際の職場をイメージしてトレーニングできる場所になっている。

#### ☆DISC

名札着用。今日の気分（調子）・DISCによる行動特性が記載されている。

☆プログラム…マナートレーニング・Wrap・Brush up&Rebornなど

### ②事業所S訪問

#### ☆見学内容

11：30～代表者より事業所の説明

12：00～ランチ試食（職場疑似訓練としてお弁当の発注・盛り付け・請求書発行など）

13：00～①ヤングSST見学、②クリスマス会企画、③パソコン研修

#### ☆「SST」

・コミュニケーション能力を高めるために、アットホームな雰囲気で行われている。見学した際には企業さんからいただいた資料「就労に求める条件」もかみ砕いてわかりやす説明もされていた。

#### ☆「コンピュータスキル」

イラストレーターやフォトショップなどの講座があり、利用者さんが季刊紙作成も行う。

アプリ開発講座などもある

☆プログラム…上記以外に体力作り（ヨガ）・就労カリキュラム・レクレーション（利用者さん企画）などもあり

## 【特例子会社】

### 特例子会社SS訪問

#### ☆1日の業務の流れ

午前：ルーティン業務 / 午後：スポット業務

#### ☆グループ分け※特性に応じて3グループ

① 作業チーム…資源回収・シュレッダー・カットなど

② PCチーム…データ入力・名刺スキャン・イントラアップなど

③ 名刺チーム…データ編集・名刺印刷・納品チェックなど

☆採用基準…学生の場合、即戦力は稀。「伸び代」をみる。

⇒①就労意欲があるか②素直さがあるか③社会のルールを守ることができるか

## 【セミナーなど参加報告】

- 11/19（日）『発達障がいフォーラム2017・発達障がい学生の就労支援』⇒関西教員参加  
 講演①「就労移行支援事業所を利用して就労された方の体験談」  
 講演②「発達障がい者の就労支援」  
 12/16（土）教員研修会⇒東西教職員参加

### ④第3回検討会議を平成30年3月2日（金）10時00分～12時00分 横浜分校にて実施した。

#### 1. 開会

#### 2. 議事

##### （1）第3回検討会議

- 八洲学園高等学校より研究案の説明
- 外部アドバイザーからの助言
- 意見交換

##### （2）その他

- 研修報告・予定

##### （3）来年度について

#### 3. 閉会

#### 出席者名簿

氏名	現職
林 尻 悟	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 代表理事
吉田 稔	一般社団法人 障がい者・高齢者じりつ支援機構 施設長兼サービス管理責任者
伊藤 京子	公立学校共済組合関東中央病院 精神科精神保健福祉士 作業療法士
東鬼 裕子	スクールソーシャルワーカー、就労支援コーディネーター
森下 優子	立正大学キャリアカウンセラー
林 周剛	八洲学園高等学校 校長
南條 将範	八洲学園高等学校 教頭
五味 美和	八洲学園高等学校 進路指導部長
花田 久仁彦	八洲学園高等学校 教務部長
吉田 洵	八洲学園高等学校 教諭
寺西 美加子	八洲学園高等学校 教諭
熊谷 憲子	八洲学園高等学校 横浜分校主任教諭

中野 史尉	八洲学園高等学校 総務部長
石塚 理恵	八洲学園高等学校 池袋キャンパス主任教諭
平井 美穂	八洲学園高等学校 生徒指導部長
土屋 しのぶ	八洲学園高等学校 新宿キャンパス主任教諭

平成 30 年度授業計画案

時間割例 半期 40 時間/年 80 時間

1 年目			2 年目		
1	座学	学習の内容スケジュール紹介	座学	学習の内容スケジュール紹介	
2	座学	働く意味を学ぶ（生活やお金のため）	座学	疑似会社設立準備（会社とは）	
3	座学	働く意味を学ぶ（社会とかかわりを持つため）	体験	疑似会社設立準備（商号決め）	
4	体験	名刺づくり	体験	疑似会社設立準備（役員決め）	
5	座学	働く意味を学ぶ（自己実現のため）	体験	疑似会社設立準備（組織図作成）	
6	体験/名刺づくり				
7	座学	働く意味を学ぶ（社会貢献のため）	座学	疑似会社設立準備（欲しい人材とは？）	
8	体験/名刺交換練習				
9	座学	社会経済の仕組みを学ぶ	体験	起業手続き/取引先の八洲へ起業の挨拶	
10	体験	家計簿の付け方を学ぶ	体験	企業研究（探し方）	
11	座学	就職活動の流れを学ぶ	体験	企業研究（探し方）	
12	体験	家計簿アプリを実際に使ってみよう	座学	企業研究	
13	座	求人票の見方を学ぶ	ケ	キャリアカウンセラー個別面談	

	学		ア	
14	ケア	キャリアカウンセラー個別面談	体験	企業説明会内容検討/案内作成
15	体験	企業説明会参加準備	体験	電話受付対応準備
16	体験	電話のかけ方（企業説明会申込み実践）	体験	企業説明会申込受付（電話対応実践）
17	体験	企業説明会参加準備	体験	企業説明会準備
18	体験	電話のかけ方（企業説明会申込み実践）	体験	企業説明会申込受付（電話対応実践）
19	体験	企業説明会参加準備	体験	企業説明会参加者名簿作り
20	体験	企業説明会挨拶（訪問実践）	体験	企業説明会挨拶（受入実践）
21	体験	企業説明会参加準備	体験	企業説明会準備
22	体験	企業説明会挨拶（訪問実践）	体験	企業説明挨拶（受入実践）
23	体験	企業説明会参加最終準備復習	体験	企業説明会準備/会場設営
24	体験	体験/企業説明会参加/採用試験案内配布		
25	体験	企業説明会参加回顧	体験	企業説明会開催回顧
26	体験	回顧発表会		
27	体験	採用試験受験準備開始	座学	ビジネスマナー
28		履歴書作成	座学	ビジネスマナー
29	体験	履歴書作成	ケア	キャリアカウンセラー個別面談
30	ケア	キャリアカウンセラー個別面談	座学	ビジネスマナー
31	体	応募書類発送	座	ビジネスマナー

	験		学	
32		面接練習（台本作成）	体 験	応募書類受付/採用試験案内発送
33	体	面接練習（台本作成）	体	採用試験準備
34	験	面接練習（発声・入退室・自己紹介）	験	採用試験準備
35	体	面接練習（発声・入退室・自己紹介）	体	採用試験準備
36	験	学科試験対策	験	採用準備
37	体験/疑似会社採用試験			
38				
39	体 験	採用試験受験回顧	体 験	採用試験開催回顧/採用通知・登録書類発送
40	体 験	回顧発表会		
41	体 験	登録書類など作成	体 験	入社式/オリエンテーション準備
42	体験/入社式/オリエンテーション(2年生主催)			
43	体 験	自己紹介/他己紹介準備		
44	体 験	自己紹介/他己紹介実践		
45	体	名刺作成		
46	験	名刺交換		
47	体	親睦会（2年目主催）		
48	験			
49	ケ ア	キャリアカウンセラー全体		
50	体 験	業務受注、業務内容、役割分担、スケジュール確認		
51	体 験	業務①開始	座 学	業務①開始/給与勉強会準備
52	体 験	業務①	体 験	給与勉強会準備
53	体 験	業務①	体 験	給与勉強会準備
54	体 験	業務①	体 験	業務①完了/八洲学園へ完了報告納品/給与明細作成

55	座学	給与勉強会（2年目主催全4回）	
56	座学	給与支給/八洲内での使用方法/お金の使用・貯金・運用について	
57	座学	銀行の役割、口座の作り方	
58	体験	八洲銀行に口座開設	
59	座学	運転免許学科	
60	座学	一般常識（初級）	座学 社会常識
61	体験	業務②開始	体験 業務②開始
62	座学	運転免許学科	
63	体験	業務②	座学 社会常識
64	体験	業務②	体験 業務②
65	座学	冠婚葬祭マナー	
66	体験	冠婚葬祭マナー（実践）	
67	体験	業務②	座学 社会常識
68	体験	業務②	体験 業務②
69	ケア	キャリアカウンセラー個別面談	座学 社会常識
70	座学	一般常識（初級）	ケア キャリアカウンセラー個別面談
71	体験	業務②	座学 社会常識
72	体験	業務②完了	体験 業務②完了/八洲学園へ完了報告納品/給与明細作成/給与支払い
73	ケア	ポジティブサイコロジー	



74	ア		
75	体験	退職/擬似通貨清算	体験 廃業手続き
76	座学	復習/まとめ	座学 復習/まとめ
77	体験/お別れ会（1年目主催）		
78			
79			
80			

●アドバイザーからの助言

- ・ごっこ遊びのように楽しみは必要。その中で自分自身の役割を自分の考え自分の責任で演じるイメージを持たせることが必要。
- ・OB や OG を呼んで体験談を実施し職業を知ることは有効ではないか。
- ・就職の前にアルバイトを見据え、リアルな目標を常に意識しながらおこなって欲しい。
- ・この取り組みでは特に多数決ではなく話し合いで決める合意形成が重要。
- ・メンタルケアは必要であるが、その手法やタイミングは要検討。

平成 29 年度文部科学省推進事業についての研修一覧

○教育機関

- ①名称：明星大学 キャリアデザインセンター訪問
- ②実施年月日・時間：2017 年 12 月 12 日（火）9：00～12：00
- ③内容：「START プログラム」運用方法についての勉強会

○教育機関

- ①名称：明星大学訪問予定／②実施年月日・時間：2018 年度
- ③内容：「START プログラム」見学

○教育機関

- ①名称：YMCA 高等学院／②実施年月日・時間：2018 年度／③内容：「ASKA プログラム」見学

○就労移行支援事業所訪問

- ①名称：でらいとわーく訪問／②実施年月日・時間：2017 年 10 月 25 日（水）9：00～12：00
- ③内容：「公文式学習プログラム」マナートレーニングなどの見学

○就労移行支援事業所訪問

- ①名称：Spirit 大森訪問／②実施年月日・時間：2017年10月25日（水）9：00～12：00
- ③内容：①ヤングSST見学、②クリスマス会企画、③パソコン研修見学

○就労移行支援事業所訪問

- ①名称：Kaizen 川崎・ガクプロ／②実施年月日・時間：2018年3月2日（金）14：00～15：30
- ③内容：事業所見学

○就労移行支援事業所訪問

- ①名称：Kaizen 新宿・ガクプロ／②実施年月日・時間：2018年3月5日（月）10：00～11：00
- ③内容：事業所見学

○就労移行支援事業所訪問

- ①名称：就労移行支援事業所 ポートビズ／②実施年月日・時間：2018年3月15日（木）13：00～15：00
- ③内容：事業所見学・就労についての相談

○特例子会社訪問

- ①名称：住商ウェルサポート訪問／②実施年月日・時間：2017年11月9日（木）13：00～16：00
- ③内容：1日の業務の流れ説明、特性に応じて分けられたグループ作業見学

○セミナーなど参加報告

- ①名称：東西教職員研修会／②実施年月日・時間：2017年12月16日（土）13：00～15：00
- ③内容：コミュニケーション/笑いについて

○セミナーなど参加報告

- ①名称：国際講演会『発達障害者へのコーチング-成長に導く新技法-』デヴィッド・パーカー博士
- ②実施年月日・時間：2018年1月21日（日）13：00～16：00
- ③内容：コーチングについての講演

○セミナーなど参加報告

- ①名称：就労移行支援事業所 Kaizen 川崎による講演
- ②実施年月日・時間：2018年2月5日（月）15：30～17：00
- ③内容：発達障害について・事業所内容などの説明など

○セミナーなど参加報告

- ①名称：MESA「第11回発達障害学生就労支援研究会」
- ②実施年月日・時間：2018年2月18日（日）13：30～16：30
- ③内容：グリー特例子会社の講演、参加企業・事業所などとの情報交換会

○教育機関

- ①名称：大阪障害者職業能力開発校訪問／②実施年月日・時間：2018年1月30日（火）  
13：30～16：30③内容：校舎見学会・「Job チャレンジ科」などの各科説明会

○就労移行支援事業所訪問

- ①名称：LITALICO ワークス大阪梅田訪問／②実施年月日・時間：2017年12月5日（火）  
13：00～14：00③内容：事業所見学

○就労移行支援事業所訪問

- ①名称：クロスジョブ鳳訪問／②実施年月日・時間：2018年2月6日（火）9：30～11：00  
③内容：事業所見学

○セミナーなど参加報告

- ①名称：発達障がいフォーラム2017 発達障がい学生の就労支援  
②実施年月日・時間：2017年11月19日（日）13：00～16：15  
③内容：発達障がい学生の就労支援についての講演

○セミナーなど参加報告

- ①名称：東西教職員研修会／②実施年月日・時間：2017年12月16日（土）13：00～15：00  
③内容：コミュニケーション/笑いについて

○セミナーなど参加報告

- ①名称：進路指導部会 勉強会／②実施年月日・時間：2018年2月3日（土）11：00～12：00  
③内容：障がいについての勉強会

○セミナーなど参加報告

- ①名称：発達障がいシンポジウム「世界自閉症啓発デー in OSAKA 2018」  
②実施年月日・時間：2018年4月6日（金）14：00～16：30  
④内容：発達障がいへの理解/発達障がいのある人の大学進学と合理的配慮についての講演

**【今年度の収穫】**

- ① 教員の就労支援に対する意識が非常に上がった。  
② 高等学校の教育に就労支援や福祉の考え方や指導法を入れることで、支援を必要とする生徒にとって有効な取り組みができるのではないかと柔軟な考え方を教員が持つことができるようになった。  
③ 多くの研修や見学をおこなうことで、外部の方とのパイプができ、この取り組みに賛同してくれた為、協力していただきながら進めることができる可能性が広がった。

**【来年度に向けての課題】**

- ① 事業計画書にあるキャリアカウンセリングの設置が今年度はできなかった為、平成30年度は4月よ

り設置する準備をおこなう。

- ② 今年度は期の途中からということもあり、今回の推進事業の取り組みを生徒に対しプレで実施することができなかった。平成 30 年度は、事業計画書どおり PDCA サイクルを繰り返しおこなう。